

1 佐用町の概要 (位置・地勢・人口等)

位置と地勢

佐用町は兵庫県西部の西播磨地域に位置し、西は岡山県、東は宍粟市、たつの市、南は上郡町と接しており、その面積は307.44k㎡で兵庫県の約3.7%を占めています。また、西播磨広域経済圏の中心都市であり、播磨圏域連携中枢都市圏の中心市である姫路市へは約40km、県庁所在地である神戸市へは約80kmの位置関係にあり、姫路市への時間的距離はJR姫新線によって約1時間となっています。町南部には、世界最高性能の大型放射光施設SPRING-8 やX線自由電子レーザーSACLAをはじめ、兵庫県立大学などの学術研究機関等が集積する「播磨科学公園都市」があります。佐用町の地形は、中国山地の東端部に連なる西播磨山地を水源として北から南に千種川水系が中央を貫流しており、全体的に平地の占める割合は少なく、山林などの自然的土地利用がその多くを占めています。

佐用町では、東西方向に中国自動車道が、南北方向に鳥取自動車道が交差するとともに、国道2本も交差しており、また、鉄道網としては、智頭急行(株)智頭線が南北方向に、JR姫新線が東西方向に通っており、過疎・中山間地域の自治体としては、比較的交通の利便性に恵まれています。



総面積	307.44 km ²
人口 (H27 国勢調査)	17,510 人
高齢化率 (H27 国勢調査)	38.2%
世帯数 (H27 国勢調査)	6,108 世帯

佐用町の代表的な風景



【夏を彩る ひまわり】



【宿場町平福の川端風】



【西はりま天文台公園】

人口

佐用町の人口は、終戦後の昭和22年の38,947人をピークに、以後減少し続けています。昭和45年以降は微減傾向で推移しており、平成7年までの25年間で約3,000人減少しています。その後、減少傾向が強まり、平成27年までの20年間で約5,800人減少しています。また、対平成22年国勢調査からの人口減少率はマイナス9.1%となり、残念ながら兵庫県下で減少率トップとなっています。平成17年の合併時(旧佐用郡佐用町・上月町・南光町・三日月町の4町が合併)には21,012人であった人口は、その後10年間で約3,500人減少したことになります。



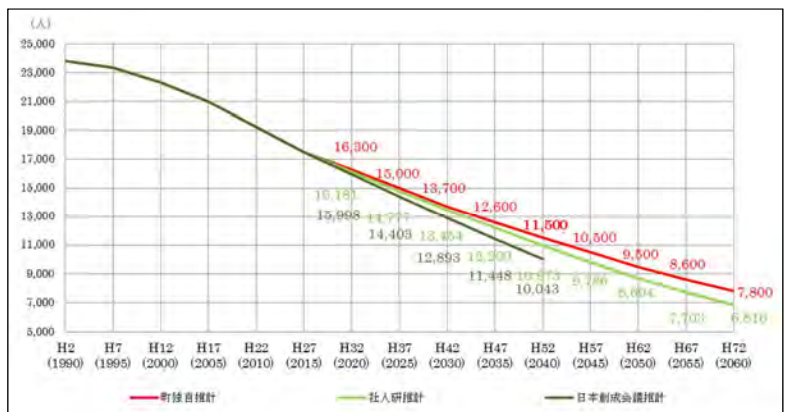
【佐用町の人口・世帯数の推移 (S40~H27)】

総人口に関する目標：2040年に人口11,500人

社人研推計10,973人に対して、11,500人を目標人口として設定。**近隣他市町と比較しても、控えめな目標設定。**

【理由】

- 人口減少はこれまでも継続的に向き合ってきた課題
- そのマイナス面ばかりに注目するのではなく、むしろ本当の豊かさや幸福を実現していくための転換点に。
- 「人口」という数量的な指標に過度にとらわれるのではなく、一人ひとりの「住民」に向き合っていくことを原則として、「**人口減少適応策**」・「**人口減少緩和策**」・「**地域の魅力・元気づくり策**」の3つの基本方針を決定。



【2060年までの人口の将来展望】

2 平成21年台風第9号災害 (平成21年8月9日 兵庫県西・北部豪雨)

- 平成21年8月9日、台風第9号の影響により、1時間降水量89.0mm、日降水量326.5mmの記録的豪雨
- 死者18名、行方不明者2名、住家被害合計1789棟の大災害が発生
- 全国からのあたたかい支援(義援金・ボランティア支援・物的支援など)を受ける

被害の状況

平成22年1月21日現在

人的被害

死者	18名
行方不明者	2名

住家被害

全壊	139棟	計 1789棟
大規模半壊	269棟	
半壊	483棟	
床上浸水	156棟	
床下浸水	742棟	

避難所及び避難者数

ピーク時 8月10日9:00現在 22箇所 2,219人



佐用町役場1階の浸水状況



被災の様子

3-1 災害に強い森づくり 森林災害の考察①



谷筋から異常出水による土砂と立木の流出



佐用町奥海



風倒木の被害地の崩壊を起因とした土砂と立木の流出

山地災害の

発生状況について

平成21年8月9日から10日にかけての台風9号による兵庫県播磨北西部を中心とした記録的な大雨により24時間200mm以上の区域となった。

山地被害は、人工林が植栽された谷筋からの異常出水及び風倒木被害地の脆弱な表層部の崩壊による流木・土砂流出が原因である。

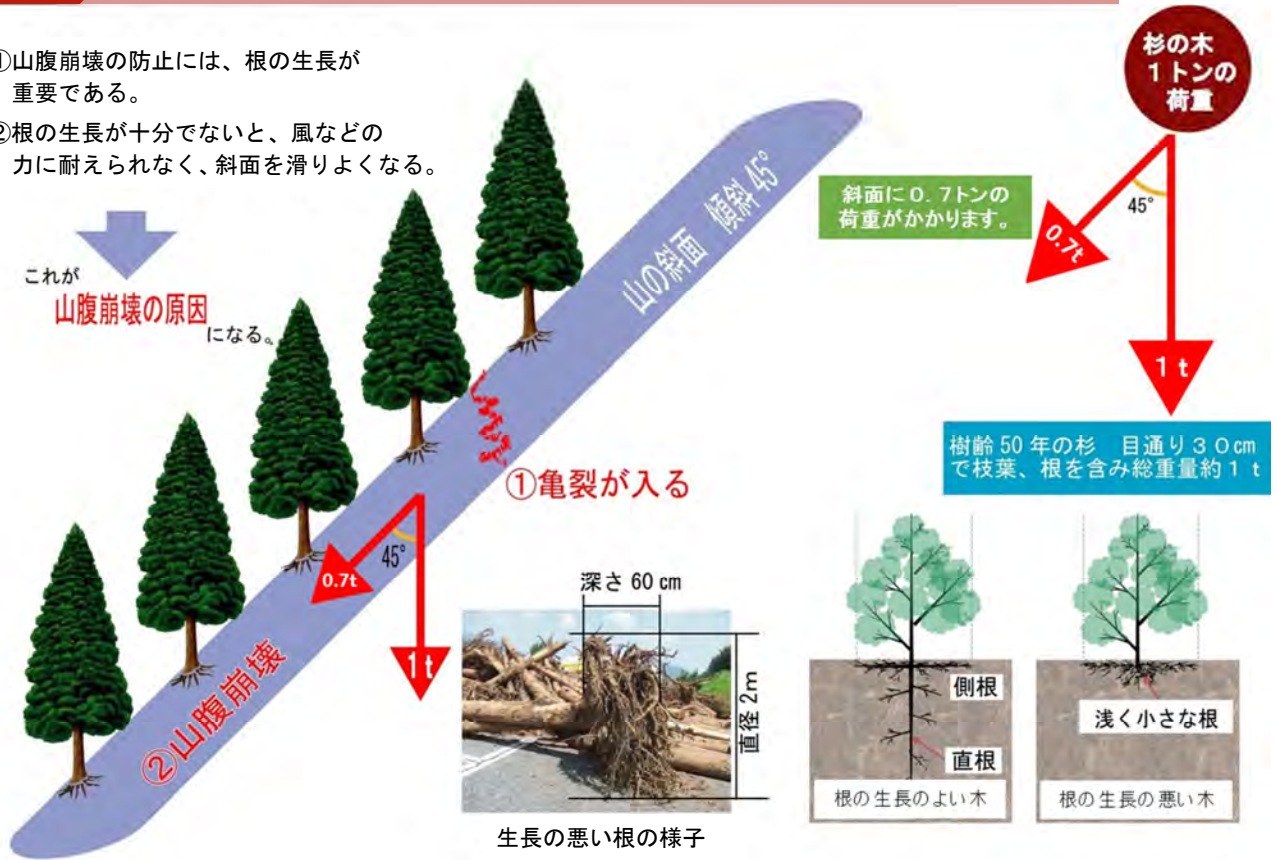


山腹崩壊からの上部から下部を眺める。佐用町上石井



山腹崩壊の頭部

- ①山腹崩壊の防止には、根の生長が重要である。
- ②根の生長が十分でないと、風などの力に耐えられなく、斜面を滑りよくなる。



- 佐用町は、平成21年8月豪雨による大水害を経験
- 山林では大量の倒木が発生、流木が川の流れをせき止め浸水被害が拡大。その際、健全な山林育成の重要性を痛感
- 山林の健全な育成を推進し、防災力を高め、循環型環境配慮社会実現への貢献を目的に、メガソーラー施設に国内産木材を活用した、“国内初”の木造建築構造架台を導入
- 大手制御機器メーカーと共同で有限責任事業組合を設立し、施設を建設・運営
- 発電収入は、町独自の子育て支援施策等に充当



【佐用・IDEC 申山太陽光発電所 全景】



【木製架台】

5 佐用町の特徴的な取り組み② 学校等の跡地活用

学校等の規模適正化の取り組み

- 全国の過疎・中山間地域と同様、本町も人口減少・少子高齢化・過疎化が進展。それに伴い、児童・生徒・園児も減少
- 「佐用町学校規模適正化推進計画」「佐用町立保育園規模適正化推進計画」を策定し、保護者・地域の意見を聞きながら推進

中学校 5 校 小学校 10 校 保育園 12 園
(平成 17 年合併時)

中学校 4 校 小学校 6 校 保育園 7 園
(平成 28 年度末の状況)

跡地活用の取り組み

跡地活用の考え方

第 1 順位 町による利活用を検討

多くの場合、公共施設等総合管理の観点から、町による利活用は不可能

第 2 順位 地域による利活用を検討

多くの場合、既に地域拠点に別に整備されているため、地域での利活用も不可能

最終的にどちらも見込めない場合、地域の賑わいづくり・雇用の場の創出・地域経済の振興等を企図し、学校等跡地利活用事業者の公募（**土地・建物を 10 年間無償貸与**）により、意欲のある民間事業者を募集

【学校・保育園跡地の利活用事業者の決定状況】(平成 29 年 11 月 20 日現在)

学校等跡地名	利活用決定事業者等	利活用内容
三土中学校跡地	佐用・IDEG 有限責任事業組合	次世代農業モデルプラント 「佐用まなび舎農園」※詳細次ページ
江川小学校跡地	JUAVAC ドローンエキスパートアカデミー兵庫校（株式会社 T&T）	ドローンスクールの運営
久崎小学校跡地	佐用日本語学校（株式会社ダニエル企画）	日本語学校の運営
中安小学校跡地	医療法人社団一葉会	サービス付高齢者住宅
長谷保育園跡地	一般社団法人 小野の駅	障がい者就労支援・障がい児デイサービス施設
石井保育園跡地	ムシの恵み社	昆虫資源の基礎研究 クリケットファームパイロット工場
江川保育園跡地	赤竹工房	皮革製品の製作・販売等
中安保育園跡地	本年 12 月議会に無償貸与議案を上程予定。	小規模多機能型居宅介護事業所（予定）

※幕山小学校・幕山保育園跡地については、現在地域での活用を検討中

6 佐用町の特徴的な取り組み③ 新たな農業事業への挑戦

農業の課題

- 米価の継続的な低価格状態
- 農業労働力・従事者数の減少と担い手の高齢化
- 耕作放棄地の拡大
- 有害鳥獣による作物被害
- 土地管理型農業の限界 等

儲かる農業の実践が必要

次世代農業モデルプラント「佐用まなび舎農園」

- 大手制御機器メーカーと共同で出資した有限責任事業組合（LLP）で建設・運営
- 中学校跡地に建設。佐用高校農業科学科生徒の研修・実習等、人材育成にも活用
- ウルトラファインバブル水や環境制御等の最先端技術と、佐用町の豊かな自然環境を組み合わせ、ブランドトマト「夢茜」・「夢茜ストレートトマトジュース」を製造・販売



【佐用まなび舎農園 全景】 施設面積 6,831 m²



ブランドトマト「夢茜」



夢茜ストレートトマトジュース



ロゴ・デザインの一例